
会社説明資料

－ 2026年3月期 －

2026年6月

株式会社 **じもとホールディングス**

株式会社 **きらやか銀行** 株式会社 **仙台銀行**

目次

1. トップメッセージ・トピックス

トップメッセージ	…	1
トピックス	…	5

2. 中期経営計画の進捗状況

① 経営理念と目指す姿	…	6
② 中小企業支援の深化	…	8
③ 業務変革（DX）	…	9
④ 経営管理	…	10
⑤ SBIグループとの主な連携状況	…	11
⑥ 業績回復への取り組み（きらやか銀行）	…	12

3. じもとグループのサステナビリティ

① サステナビリティ基本方針	…	13
② サステナビリティに関する取組み	…	14
③ 主要課題への取組み	…	16
④ 人的資本経営	…	20

4. 2026年3月期 グループ決算の状況

① 決算の概要	…	25
② 資金利益	…	26
③ 貸出金・預金	…	27
④ 有価証券	…	28
⑤ 役務取引等利益	…	29
⑥ 経費、経営効率化	…	30
⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権	…	31
⑧ 自己資本比率、ROE	…	32
⑨ 中期経営計画目標と実績	…	33
⑩ 2027年3月期 業績予想と配当予想	…	34

1. トップメッセージ – じもとグループの主要施策 –



代表取締役社長 坂爪敏雄 代表取締役会長 西塚英樹

【2期連続の増収増益決算】

日頃よりじもとグループに対するご理解とご支援に心より感謝申し上げます。

2026年3月期の当社グループの業績につきましては、経常利益は、貸出金利息など資金運用益が増加したことなどから、前年度比10億円増加の31億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度比10億円増加の25億円となり、**2期連続の増収増益決算**となりました。



じもとグループ主要施策

中小企業支援の深化

業務変革 (DX)

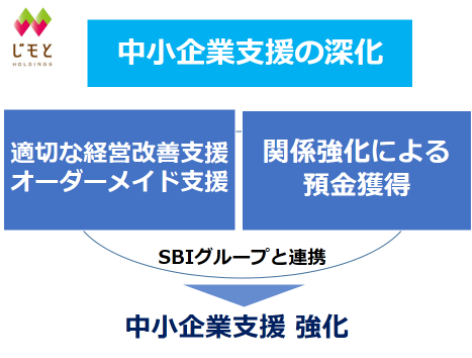
経営管理

SBIグループ連携

【主要施策】

当社グループは、2025年度において、「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」という経営理念のもと、SBIグループとの連携をさらに深めながら、「中小企業支援の深化」、「業務変革 (DX)」、「経営管理」に取り組んでまいりました。

1. トップメッセージ – じもとグループの主要施策 –



◆中小企業支援の深化

物価や金利の上昇局面において、適切な経営改善支援や、お客様の状況に応じたオーダーメイドの支援をスピーディーに実施しました。

また、預金についても、個人のお客様はもとより、法人のお客様や地方公共団体との関係をより強固にし、増加に努めました。



◆業務変革(DX)

「SBI次世代バンキングシステム」の採用を決定し、2028年度の移行を目指して、準備に着手いたしました。

「じもとミライ！」プロジェクトと命名したこの活動では、当社グループの将来のあるべき姿を検討し、生成AIも活用しながら、地域社会へ新たな付加価値をどのように提供すればよいかを協議しております。



◆経営管理

経営陣がリーダーシップを発揮し、信用リスク管理やコンプライアンス態勢の強化など、内部管理態勢の再徹底に取り組みました。

今後も経営環境の変化、そして当社グループに与える影響を迅速に把握し、的確に対応してまいります。

【対処すべき経営課題】

◆次期勘定系システム更新と業務変革への対応

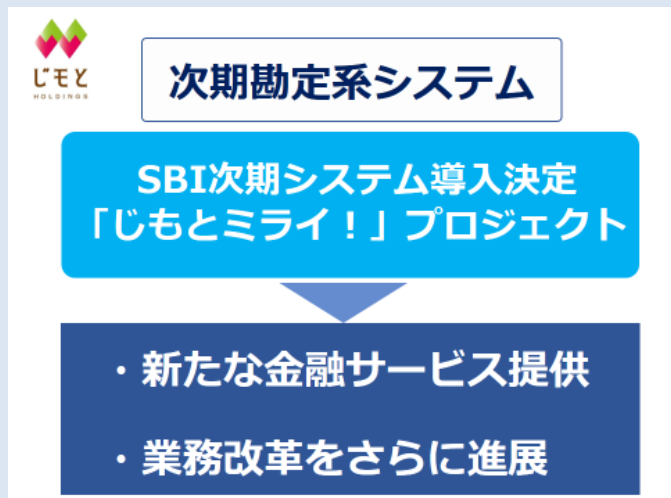
地域金融機関を取り巻く経営環境は、金融テクノロジーの進展、地域社会の人口減少の加速などにより、大きく変化しております。

当社グループは、環境変化を的確にとらえ、地域金融機関として中長期的に地域に貢献し、よりよい金融サービスを提供するため、グループ全体の業務変革を進めることを重要課題としております。

このため、SBIグループが提供する、「次世代バンキングシステム」の採用を決定し、「じもとミライ！」プロジェクトを始動いたしました。本システムでは、ペーパーレス化や内部事務の効率化を飛躍的に進めることができるほか、新たな金融サービスの開発・提供をより迅速に行うことが可能となります。

各子銀行において、今まで以上に、お客様と直接ご面談できる体制を構築し、コンサルティング営業を強化してまいります。

本システムは、2028年度の稼働を予定しておりますので、SBIグループと緊密に連携しながら、準備を進めてまいります。



1. トップメッセージ – 対処すべき経営課題 –

【対処すべき経営課題】

◆中小企業支援と公的資金返済への対応

きらやか銀行は、震災特例の300億円、新型コロナ特例の180億円、合計480億円の公的資金を受入れております。

仙台銀行は、震災特例の300億円を受入れており、当社グループでは総額780億円の公的資金を受入れております。

これらの公的資金は、大震災やコロナ禍で大きな影響を受けた地元中小企業や地域経済を支えるための大事な資金でございます。

当社グループは、これからも公的資金の目的である地元中小企業への円滑な金融支援に真摯に取り組み、地元経済の発展に全力で貢献してまいります。

次期勘定系システム更新を通じた業務変革により、着実に業績の向上につなげ、公的資金の返済に向けて、剰余金の積上げに努めてまいります。



1. トピックス

きらやか産業賞・ベンチャービジネス奨励賞の贈呈

- ◆きらやか産業賞は、技術や経営の革新・国際化・教育訓練の面で特に優れた実績を上げている山形県内の中小企業と団体・個人を顕彰しており、2025年度で37回目を数えます。
- ◆ベンチャービジネス奨励賞は、特に将来性があり、新技術・新製品などの研究開発を行う中小企業と関連団体・研究成果による起業を予定している個人・団体を顕彰しており、2025年度で30回目を数えます。
- ◆今後も本贈呈を継続し、地元産業活性化に取り組んでまいります。



公益信託「仙台銀行まちづくり基金」（仙台銀行）

- ◆宮城県内のまちづくり等に取り組んでいる方々を応援するため、1992年の創業40周年記念事業の一環として、公益信託「仙台銀行まちづくり基金」を創設しております。
- ◆2025年度は、地域振興やまちづくりに取り組む団体等15先に総額296万円の助成を決定いたしました。今後も本基金を通じて、地域活性化に向けた活動を支援してまいります。



きらやか銀行教育福祉振興基金による寄贈品の贈呈

- ◆一般財団法人きらやか銀行教育福祉振興基金（代表理事 西塚英樹きらやか銀行取締役頭取）は、教育・学術の振興及び社会福祉施設、交通安全施設、生活環境の拡充整備等に係る助成を行っております。
- ◆山形県内の保育施設へ遊具一式の贈呈や福祉施設の設備充実を図るための寄贈等の地域貢献活動を行うことで、地域社会に貢献してまいります。



女性起業家向け専用融資商品の取扱い開始（仙台銀行）

- ◆女性起業家向け創業融資「はなさくミライ！」の取扱いを2026年3月より開始いたしました。本商品は、女性の相談のしやすさにフォーカスした全国的にも珍しい商品です。
- ◆今後も幅広い創業支援を通し、誰もが自分らしく挑戦し続けられる社会の実現を後押ししてまいります。

女性起業家向け創業融資
はなさくミライ!

女性の未来は、自分らしい生き方を
挑戦するあなたを応援しています。

【特徴】女性専用が資金使途をサポート
【特徴】女子経営者向けの相談窓口（女性専用ダイヤル）
【特徴】日本政策金融公団との協賛融資制度をサポート
【特徴】高橋ビジネスインサイトの案内あり
【特徴】インターネットバンキング契約時、各種手数料無料
【特徴】事業計画書作成支援
【特徴】返済期間延長サービスあり
【特徴】返済滞り防止サービスあり
【特徴】返済滞り防止サービスあり

融資金額：最大3,000万円
返済期間：最大10年
利 率：変動利率
連帯保証：原則不要
（詳しくは融資担当者にお気軽にご相談ください）

じもと 仙台銀行

項目	内容
対象となる方	1. 女性経営者（個人事業主、フリーランス、役員等） 2. 創業10年以内の経営者（個人事業主、フリーランス、役員等） 3. 創業10年以上の経営者（個人事業主、フリーランス、役員等）
対象となる業種	製造業、サービス業、小売業、飲食業、建設業、不動産業、医療・福祉業、教育・学術関係、その他
融資期間	10年以内
返済方法	元金均等返済、元金元金均等返済
返済期間延長サービス	返済期間延長サービス（返済期間延長期間中は元金均等返済）
返済滞り防止サービス	返済滞り防止サービス（返済滞り防止期間中は元金均等返済）
連帯保証	原則不要（返済滞り防止サービス利用時）
手数料	インターネットバンキング契約時、各種手数料無料
相談窓口	女性専用ダイヤル（02-225-8310）

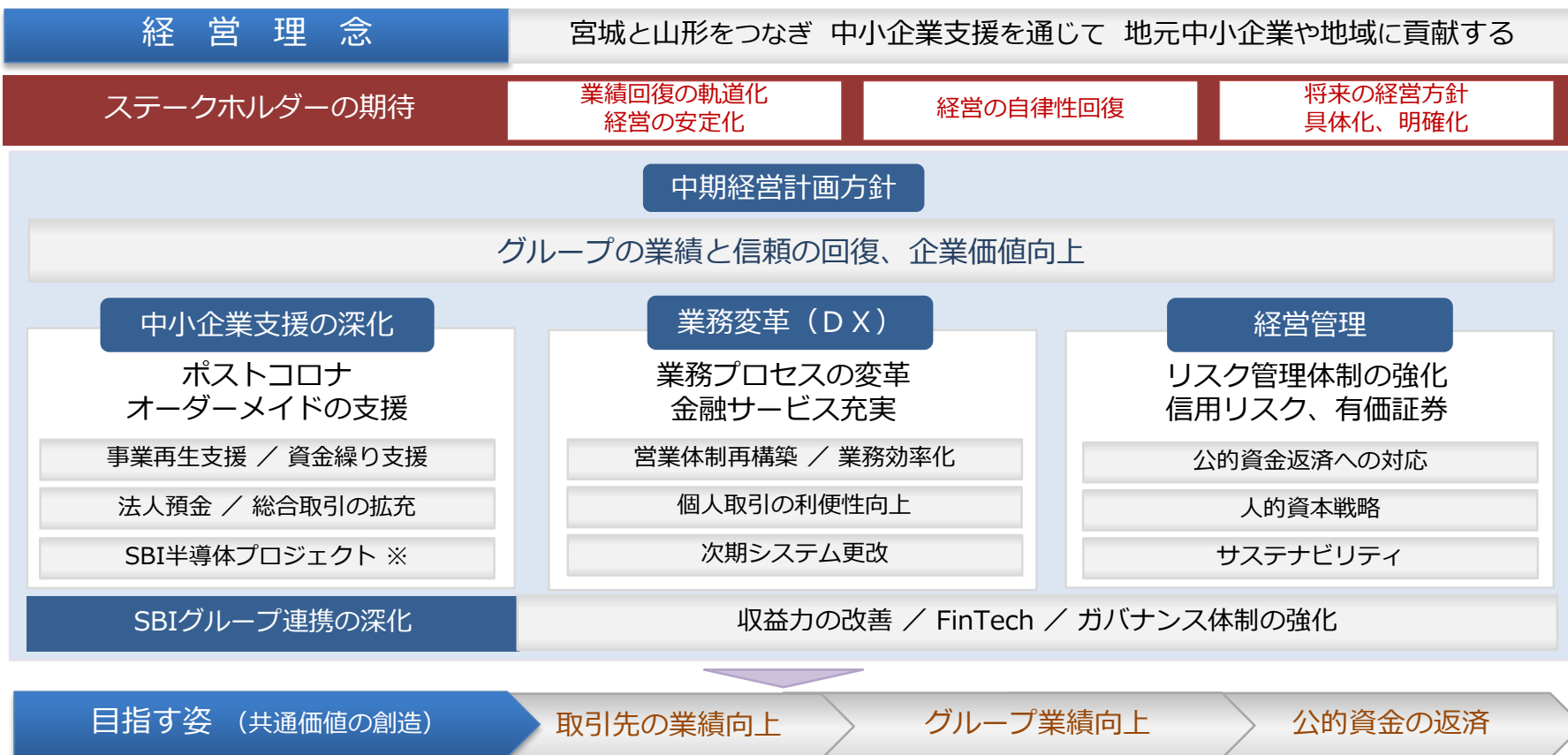
◆お問い合わせ先◆ 電話番号 022-225-8310
受付時間 月～金 9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始は受付停止となります）

仙台銀行 地元企業応援部

2. 中期経営計画の進捗状況

① 経営理念と目指す姿

- 当社グループの経営理念は、「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」ことです。
- 中期経営計画（2024年～2026年）では、「**グループの業績と信頼の回復、企業価値向上**」を計画方針とし、「**中小企業支援の深化**」「**業務変革（DX）**」「**経営管理**」において、「**SBIグループ連携**」を深めながら、地域創生、業務変革のスピードアップ、経営管理の高度化に取り組みます。
- これらの取り組みを通じ、取引先の業績向上、グループ業績向上、公的資金返済へつなげる「**共通価値の創造**」の実現を目指していきます。



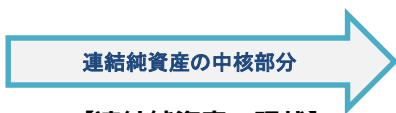
※本計画の施策に掲げております「SBI半導体プロジェクト」は、SBIHDとPSMCとの提携解消を受け、対応に変更が生じておりますが、当社グループの業績予想に影響はございません。

① 経営理念と目指す姿（PBRの現状と対応）

- 当社グループ連結純資産877億円（普通株式93億円、公的資金780億円等）は、公的資金の割合が大きく、レバレッジが高い構造となっています。
- 普通株式の純資産は、黒字回復以降、利益剰余金を着実に積上げております。PBRは計算上、同規模の地方銀行に比べて高くなっています。
- 公的資金を活用した**地元企業支援、与信リスク管理**により収益力を改善し、**ROE向上を通じてPBR改善に取り組んでまいります。**
- 併せて、SBI連携を通じて収益力の強化を進めることで、公的資金の返済を進めてまいります。

【図表】当社グループ連結純資産の構成と普通株式分PBR（2026年3月期）

HD連結純資産 877 億円	
発行株式	株主への帰属
普通株式 発行済株式数 26,840千株	普通株式 93 億円
B種優先株式 (震災特例) 300億円	優先株式 (公的資金) 780 億円
C種優先株式 (震災特例) 200億円	
D種優先株式 (震災特例) 100億円	
E種優先株式 (コロナ特例) 180億円	
非支配株主持分	



【連結純資産の現状】

- ・自己資本に占める公的資金の割合が大きく、レバレッジが高い構造。
- ・普通株式に帰属する純資産は、前年度の黒字回復以降、利益剰余金を着実に積上げております。
- ・普通株式に対するPBRは、計算上、1.35倍と同規模の地方銀行に比べて高い状況。

【改善への方向性】

- ・安定的な収益確保が課題。
- ・公的資金を活用した地元企業支援、徹底した新規の与信リスク管理による信用コストの正常化を通じて収益力を改善。
- ・ROE向上を通じて、PBRの改善を見込む。
- ・併せて、収益力を強化し、公的資金の返済を進めてまいります。

HD普通株式分 PBR

構成要因	2026/3
PBR 株価 ÷ 1株当たり純資産	1.35倍 474円 ÷ 350円
ROE 1株当たり当期純利益 ÷ 1株当たり純資産	25.6% 89円 ÷ 350円
PER 株価 ÷ 1株当たり当期純利益	5.27倍 474円 ÷ 89円

参考：市場が着目する ROE

資本全体の収益	2026/3
ROE 当期純利益 ÷ 自己資本 (普通株+優先株)	2.95% 25億円 ÷ 875億円
◇投資家の期待水準（資本全体） 5.00% ⇒ 連結利益43億円	

- ※（普通株式に係る）1株当たり純資産
純資産93億円 ÷ 26,703千株 = 350円
- ※（普通株式に係る）1株当たり当期純利益
(当期純利益25億円 - 優先配当1.79億円)
÷ 26,746千株 = 89円
- ※ 株価は3月末の終値：474円

② 中小企業支援の深化

- 資金繰り支援に加え、事業再生/成長支援に重点を置き、震災特例・コロナ特例の公的資金受入行として、コンサル子会社と連携して経営支援を行っております。

中小企業支援

地域課題解決（きらやか銀行）

- ◆ 地域の課題解決へ注力、共通の地域課題である「人材」、「事業承継」、「DX」の解決に寄与する企業・経営者向けセミナーを実施。

創業支援（仙台銀行）

- ◆ 宮城県信用保証協会創業関連融資

2025年度上期実績		県内シェア
実行件数	115件	41.8%
実行金額	8.7億円	41.8%

（中小企業庁ホームページより）

- ◆ 創業支援に積極的に取組み、宮城県内の信用保証協会創業関連融資取り扱いは県内トップの実績。

仙台地区戦略

中小企業貸出平均残高

2025年度下期	5,150億円
対前年同月末比	増加 116億円
伸び率	2.3%

両行協調・紹介融資

2025年度実績	
実行金額	48億円

- ◆ 物価金利上昇局面における適切な経営改善支援や、取引先の状況に応じたオーダーメイドの支援をスピーディーに実施しております。

地方創生への貢献

電子地域通貨（きらやか銀行）

電子地域通貨	<山形県山形市> ・ベニpay 第7弾 <山形県河北町> ・かほくpay 第4弾
--------	---

企業版ふるさと納税（仙台銀行）

企業版ふるさと納税	・宮城県内の25自治体（前期比+8自治体）と提携し、地域再生計画を支援
-----------	-------------------------------------

- ◆ 電子地域通貨や企業版ふるさと納税などの活用により、地方自治体の地域再生計画を支援してまいります。
- ◆ 引続き、ヒアリングや情報提供を継続し、自治体との連携拡大を目指します。

③ 業務変革（DX）

- 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で進め、経営資源を効率的に再配分し、営業体制の増強につなげております。また、SBIグループの知見やノウハウも積極活用し、新たな金融サービスの提供や業務の再構築に取り組んでおります。

＜取り巻く経営環境の変化＞
金融テクノロジーの進展
地域社会の人口減少加速

＜経営課題＞
環境変化への迅速な対応
経営資源の効率的な配分

「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進

店舗戦略

店舗再編・営業体制の見直し
計画的な店舗戦略による合理化
中小企業支援の人員を創出

エリア営業体制(きらやか)

- 北村山営業部
- 鶴岡営業部
- 酒田営業部
- 西村山営業部

4地区

店舗再編(仙台)

- 仙台銀行 八木山支店
- 店舗の新築移転(仙台)
- 仙台銀行 高砂支店

2店舗

業務効率化・DX

次期勘定系システム更新対応
グループ体制を整備するとともに
全体プロジェクト計画書を策定

きらやか銀行ネット支店
口座開設キャンペーンの展開
新たな預金商品の取扱い

バンキングアプリ
機能強化による利便性向上
次期勘定系システムとの連携

業務プロセスの効率化・合理化

人員戦略

地域課題解決へ向けた体制整備
(きらやか銀行)
・地域課題解決への取組姿勢の
明確化、支援体制の整備
・人材育成

職員の再配置による営業体制増強
・業務変革により創出した人員を
営業担当へ順次再配置

女性・若手職員の営業力強化
・共同研修の開催
・育成ノウハウの共有

SBIグループ連携の積極活用

④ 経営管理

- 経営強化計画の着実な遂行により安定収益を確保し、株価回復とPBR・ROE改善を目指しています。
- グループノウハウ共有や外部知見導入により、リスク管理態勢の強化を図るとともに、職員が成長・活躍できる組織づくりに取り組んでいます。

資金政策・株価対策

経営強化計画の遂行

- ◆ 経営強化計画に基づく黒字決算と配当の継続
- ◆ 2期連続の増収増益決算
- ◆ 利益剰余金計画の達成に向けた対応

リスク管理態勢の強化

社外取締役の知見活用

- ◆ 本部職員との面談、営業店訪問を実施
- ◆ 社外取締役の知見をさらに活用し、グループ重要課題の協議を拡充

信用リスク管理

- ◆ 取引先の的確な実態把握、HDの関与を深めてグループ管理を強化
- ◆ SBIグループから取締役1名を招へいし、きらやか銀行の管理体制を強化

有価証券リスク管理

- ◆ SBIグループとの連携による評価損改善、再投資への対応
- ◆ SBIポート以外（債券、株式、投資信託等）の投資対応



PBR・ROE改善への取組み

- ◆ 株価の回復
- ◆ 課題である安定収益の確保に向け、公的資金を活用した地元企業支援、与信リスク管理への取組み

人的資本戦略

女性・若手職員の活躍推進

- ◆ 女性管理職比率15%へ向け、役席者対象に「女性リーダー養成研修」を共催
- ◆ 多様な職員の人材育成ため「ダイバーシティ推進セミナー」を共催

ワーク・ライフ・バランス

- ◆ 適正な勤務時間管理の実施
- ◆ 育児休暇取得者の職場復帰支援
- ◆ 「養育両立支援休暇」制度の導入

人権の尊重・職場改善

- ◆ タウンホールミーティング（きらやか）
- ◆ ハートコンタクト運動の継続実施（仙台）

⑤ SBIグループとの主な連携状況

■当社グループは、SBIグループとの連携を積極活用し、中小企業支援、業務変革、経営管理、人材育成の各分野で提携効果を発揮しております。

SBIグループとの主な提携実績

勘定系システム

- ◆SBIグループ提供の「次世代バンキングシステム」に2028年更改予定

コスト削減

- ◆SBI共通ATMへ全台入替
- ◆じもとHD役員賠償責任保険見直し
- ◆SBIビジネス・イノベーターのノウハウ活用

地方自治体支援

- ◆地域通貨(プレミアム商品券)の電子化
- ◆企業版ふるさと納税

法人戦略

- ◆無料ECサイト構築支援
- ◆事業性ローン団信取扱
- ◆DXデータベースによるデジタル化支援
- ◆トレーサビリティサービス提供
- ◆企業型確定拠出年金

ガバナンス

- ◆SBIグループより社外取締役1名就任
※きらやか銀行取締役(非業務執行)を兼任
- ◆SBIグループから、きらやか銀行へ取締役1名(業務執行)就任
- ◆SBIよりオブザーバーが会議へ参加



×



個人戦略

- ◆きらやか銀行ネット支店
- ◆住宅ローン団信、がん保険
- ◆SBIアルヒへの住宅ローンのトスアップ
- ◆個人版確定拠出年金
- ◆投資信託商品
- ◆投資用不動産事業に係るアパートローン
- ◆保証付住宅ローンの取扱開始
- ◆個人ローンの広域展開(きらやか)

SBIマネープラザ

- ◆共同店舗運営、資産運用提案の向上
- ◆相続に係るコンサルティング業務強化

データ分析/AI活用

- ◆行内データの分析・活用検討
- ◆SBIHD生成AI室が執り行う「SBI地域生成AI研究会」に参画

ファンド出資・融資連携

- ◆SBIインベストメント組成ファンド出資
- ◆SBI新生銀行が組成するシンジケートローン参加

ネット支店・バンキングアプリ

- ◆ネット支店でのキャンペーン定期取扱
- ◆機能強化による利便性向上

⑥ 業績回復への取り組み（きらやか銀行）

- きらやか銀行は、「考動改革！～意識を変える・行動を変える～」をスローガンに掲げ、役職員が一丸となって全力で取り組んでおります。
- 主要課題である**信用リスク管理**について、じもとHDやSBIグループの協力を得ながら、企業支援体制や貸出審査体制の再構築を図りました。営業店では、お客さまへの訪問を徹底し、経営支援や事業整理等を的確にサポートすることで、信用リスクの抑制に努めております。
- 営業戦略として従来の本業支援に加え、地域課題解決という目線を追加し、多様化・高度化する顧客や地域のニーズに対応してまいります。
- SBIグループとの連携を強化し、全国のお客さまを対象にした、新たな預金商品やWeb完結ローンを展開するなど、お客さまの利便性を高めてまいります。

<p>地域課題解決への取り組み</p> <p>「地域の課題解決」へ注力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆3本柱である人材支援、事業承継、DXに関する企業・経営者向けセミナーを実施 ◆2025年度より上記3本柱に関するセミナーを累計17回開催しており、相談件数は148件 	<p>エリア制の導入</p> <p>北村山営業部、鶴岡営業部の2つのエリアでスタート</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆エリア中核店とエリア連携店を配置 ◆エリア中核店に渉外業務と融資業務を集約し担当エリアの重複解消 ◆酒田地区、西村山地区においてエリア制開始について対外周知（2026年4月開始） 	<p>顧客基盤強化</p> <p>対面営業の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆顧客ニーズに合わせた預金商品を展開 ◆店舗独自による定期預金や年金キャンペーン等を実施
<p>企業支援体制</p> <p>企業支援専担部署の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業支援部による営業店サポート強化 ◆事業再生や事業整理の提案、実行サポート ◆若手職員の財務分析、業種別審査ノウハウ研修を開催 	<p>多様な人材確保</p> <p>キャリア採用を積極的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆他業種や金融機関経験者、システム系の専門経験者など多様な人材を採用 ◆リファラル採用制度やウェルカムバック採用制度の新設・運用開始 	<p>SBIグループとの連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ネット支店（SBIさくらんぼ支店）での各種キャンペーン ◆全国のお客さまを対象とした、預金商品やWeb完結ローンの展開

ネット支店 各種キャンペーン

きらやか銀行 SBI GROUP きらやか銀行SBIさくらんぼ支店

金利マシマシ定期預金

お預かり総額に応じて

参加者求む！ 金利最大 **年1.5%** 税引後（1.195%）

普通預金 キャッシュプレゼントプログラム

普通預金残高50万円以上の方対象

四季のボーナスII

お得な普通預金金利 **年0.40%** + さらに 3ヶ月毎に対象口座へ入金 キャッシュプレゼント

山形こめこめ定期

年4回 山形のおいしいお米をお届けします

ご好みにつき取扱期間延長！

実施期間 2026年2月20日～7月31日

3. じもとグループのサステナビリティ (サステナビリティ活動報告)

① サステナビリティ基本方針

- 当社グループは、2021年12月に「サステナビリティ基本方針」を制定、2022年4月に「サステナビリティ推進グループ」を設置しました。
- 持続可能な社会の実現に向けて、役員研修や支店長会議でグループ方針を周知し、中小企業支援と各主要課題に取り組んでおります。

サステナビリティ基本方針

経営理念 「宮城と山形をつなぎ、中小企業支援を通じて、地元中小企業や地域に貢献する」

経営理念に基づく事業活動

1. じもとグループは、宮城県と山形県の地元中小企業が直面する、地域経済の縮小、人口の減少・高齢化、後継者問題などの中長期的な課題への対応、業況の改善に取り組んでまいります。
2. じもとグループは、環境問題、職員の健康・労働環境の改善や公正・適切な処遇、人権尊重、東日本大震災の被災経験等を踏まえた危機管理などに取り組んでまいります。
3. じもとグループは、国連が提唱するSDGsの趣旨に賛同し、持続可能な地域社会の実現に向けて、外部連携も活用しながら、社会的な課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

中小企業支援を通じた取引先への取組み
(金融機関としてなすべきこと)

主要課題への取組み
(上場企業としてなすべきこと)

取引先や地域社会の持続可能な発展に貢献
当社グループの収益改善

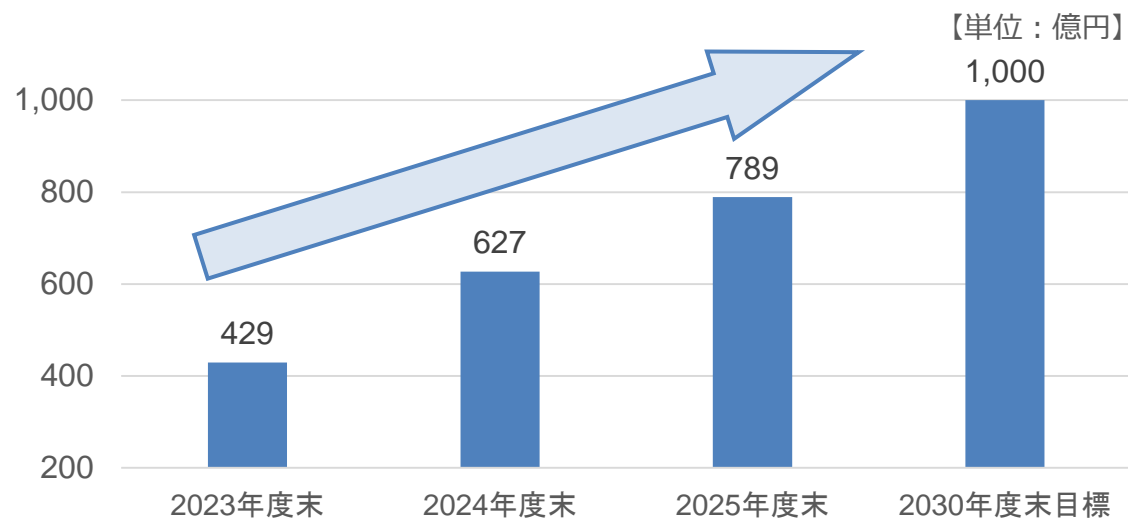
「共通価値の創造」 の実現へ

② サステナビリティに関する取組み

サステナビリティ関連投融資

サステナビリティ関連投融資について、2030年度末までに、累計1,000億円の実行を目指します。

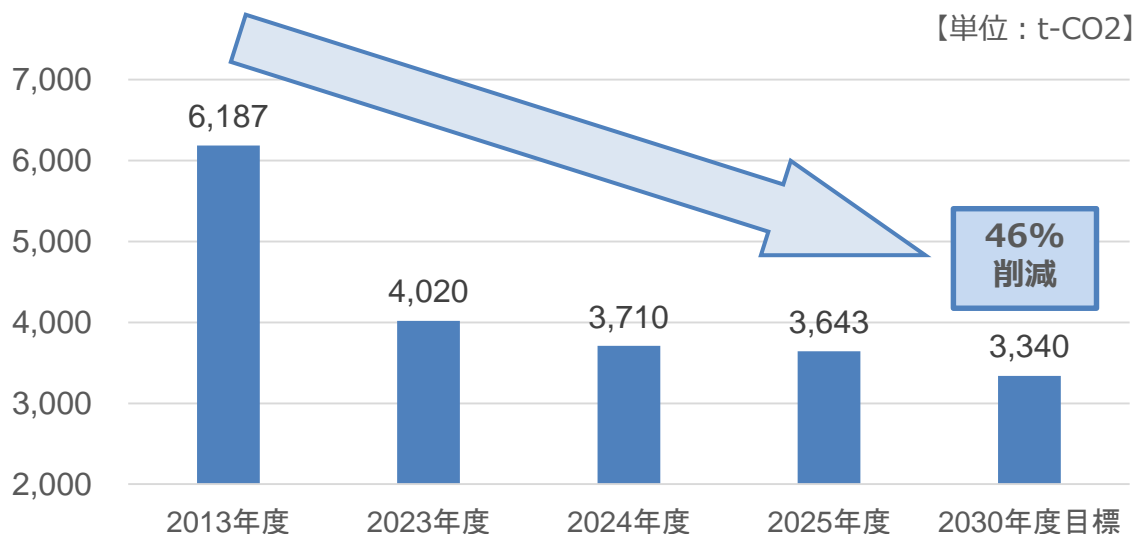
2025年度末の累計実績は、789億円となりました。



CO₂排出量 (Scope1,2合算) の削減

CO₂排出量 (Scope1,2合算) について、2030年度までに、2013年度と比較して46%の削減を目指し、取り組んでおります。

2025年度のCO₂排出量は、2013年度と比較して、41.1%削減をしております。



② サステナビリティに関する取組み

女性活躍推進法に基づく行動計画

2025年度における女性職員割合の実績は、下表のとおりとなっております。

	管理職に占める女性職員割合	正職員に占める女性職員割合	新規採用職員に占める女性職員割合
きらやか銀行	11.8 % (16名/135名)	46.4% (289名/623名)	76.5% (13名/17名)
仙台銀行	15.0 % (19名/126名)	47.5% (333名/700名)	41.1% (14名/34名)

【2030年度目標】

	管理職に占める女性職員割合
きらやか銀行	16.0 %
仙台銀行	18.0 %

③ 主要課題への取組み

- 当社グループは、上場企業、地域企業として取り組むべき、サステナビリティの5つの課題を設定して取り組んでおります。
- 従業員や取引先など、多様なステークホルダーとの良好な関係を構築することを通じて、持続可能な社会の実現を目指しております。

主要課題	主な取組み	関連するSDGs				
<p>気候変動などの地球環境問題</p>	<p>異常気象や自然災害が地域経済に及ぼす甚大な影響を踏まえ、グループ内の環境負荷低減活動を展開し、取引先や地域が行う環境問題に配慮した事業にも本業支援を通じて積極的に支援しております。</p> <p>また、気候変動が当社財務へ与える影響についても管理ノウハウを蓄積してまいります。</p>  <p>2023年3月、「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」提言へ賛同を表明しています。</p> <p>当社グループは、環境問題の課題解決に向けて、主体的に取り組んでまいります。</p> <table border="1" data-bbox="555 1045 1653 1282"> <tr> <td data-bbox="555 1045 901 1163">電力消費量削減</td> <td data-bbox="901 1045 1653 1163">【2025年度削減実績】 △79kwh ※2024年度対比</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 1163 901 1282">照明設備のLED化</td> <td data-bbox="901 1163 1653 1282">【実施率】 100%（81カ店全店で実施完了）</td> </tr> </table>	電力消費量削減	【2025年度削減実績】 △79kwh ※2024年度対比	照明設備のLED化	【実施率】 100%（81カ店全店で実施完了）	  
電力消費量削減	【2025年度削減実績】 △79kwh ※2024年度対比					
照明設備のLED化	【実施率】 100%（81カ店全店で実施完了）					

③ 主要課題への取組み

主要課題

主な取組み

関連するSDGs

法令等遵守を経営の最重要課題として位置づけており、基本的人権の尊重を掲げ、個人の多様性を尊重するとともに、あらゆる差別等の人権侵害およびハラスメントを禁止し、職員が生き生きと働くことができる職場環境づくりを目指しております。

当社は、コンプライアンス基本方針に則り、従業員の人権、個性を尊重するとともに安全で働きやすい環境を確保するため、「カスタマーハラスメント対応方針」を制定しております。



1. カスタマーハラスメント定義
お客さまからのご意見、ご要望のうち、その要求内容が妥当性を欠く場合、または妥当性に基づいて要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当なものであって、当該手段・態様により、当社業務または従業員の就業環境が害されるものと定義します。
2. 該当する行為（※記載内容は主な事例であり、これに限るものではありません。）
- (1) 要求内容が妥当性を欠く場合の例
- ① 提供する商品、サービスに瑕疵または過失が認められない
 - ② 要求の内容が当社の提供する商品、サービスの内容と関係がない
- (2) 要求を実現するための手段・態様が社会通念上不相当な態様等の例（要求内容の妥当性にかかわらず不相当とされる可能性が高いもの）
- ① 身体的な攻撃、精神的な攻撃（暴行、傷害、脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言）
 - ② 威圧的な攻撃、社会通念を超える謝罪の要求（上下関係の要求等）
 - ③ 継続的、執拗な攻撃
 - ④ 肉体的な行動（不遠慮・過度り・監視、何度も同じ説明をさせる、要求する）
 - ⑤ 性的な攻撃、差別的な攻撃
 - ⑥ 従業員個人への攻撃、要求、お叱りつけ行為やつきまとい等のセクハラ行為、ストーーカー行為
 - ⑦ SNSやインターネット上での誹謗中傷
 - ⑧ 当社施設内での写真、映像撮影等の迷惑行為
 - ⑨ 正当な理由のない商品交換の要求、金銭補償の要求
3. 当社の対応・取組姿勢
- (1) カスタマーハラスメント行為を行うお客さまに対しては、お止めいただくよう注意させていただきます。
 - (2) 他のお客さまや従業員等の安全確保のため、お客さま対応をお断りさせていただき、警察への通報や弁護士と連携するなど適切に対応いたします。
 - (3) 悪質な行為が継続する場合、お取引をお断りする場合がございます。

- ◆ハラスメント事案の未然防止および早期発見のための内部通報窓口の設置
- ◆職場でのハラスメント予防のための各種研修の実施






人権の尊重

③ 主要課題への取組み

主要課題	主な取組み	関連するSDGs
<p>従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇</p>	<p>働き方改革やライフスタイルの多様化を踏まえ、「ワーク・ライフ・バランスの実現」、「男女ともに働きやすい職場」を目指し、職員の健康・労働環境の整備や公正で適正な評価・処遇に取り組み、職員のモチベーションアップ、組織の活性化、生産性の向上につなげております。</p> <p>【企業主導型保育園の設置】</p>  <p>【イクボスへの取組み】</p> <div data-bbox="874 986 1653 1273" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">イクボス宣言</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、私たちは、共に働く職員のライフスタイルの多様性を認め合い、仕事と家庭生活の両立を全力で応援する職場風土を醸成します。 一、私たちは、自らもワーク・ライフ・バランスを実現しながら、組織の目標達成意識を高く持ち、企業力を高める「イクボス」を目指します。 一、私たちは、地域金融機関として、職員一人ひとりが仕事と家庭生活を両立させることで“じもと”を元気にし、“じもと”で働きたくなるような街づくりに貢献します。 </div>	<div data-bbox="1736 294 1964 519"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div data-bbox="1736 625 1964 851"> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  </div> <div data-bbox="1736 956 1964 1182"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div>

③ 主要課題への取組み

主要課題	主な取組み	関連するSDGs
取引先との公正・適正な取引	<p>地域金融グループとして、取引先や主要株主との公正な取引を確保するため、様々なルールを定め、職員へ啓蒙、徹底に努めております。</p> <p>また、取引先からの相談苦情は、専門受付窓口を設置し、迅速かつ十分な分析・検討・対応を行い、改善に取り組んでおります。</p>	 
自然災害等への危機管理	<p>東日本大震災の被災経験や復興支援の取組みを継承し、地震や大規模災害、感染症発生時における事業継続計画を定め、定期訓練やマニュアル改定を行い、危機管理の実効性を向上させております。</p> <p>大規模災害発生時は、銀行取引の特例措置、災害支援融資により、地域の災害復興、復旧に取り組んでおります。</p>	

④ 人的資本経営

当社グループの主な研修制度

	新入行員	中堅職員	管理職
階層別研修	<ul style="list-style-type: none"> ◆新入行員研修 ◆新入行員フォローアップ研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新任役席者研修 ◆考課者研修 ◆コーチング研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◆新任管理職研修 ◆管理職マネジメント研修
自己啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆ダイバーシティ推進セミナー ◆各種資格取得支援制度 ◆女性リーダー養成研修 ◆通信教育受講支援制度 ◆キャリアデザイン研修 ◆行内キャリアカレッジ（FPスクールなど） 		
法人営業	<ul style="list-style-type: none"> ◆融資渉外基礎研修 	<ul style="list-style-type: none"> ◆融資渉外育成研修 ◆行内外トレーナー ◆情報収集カヒアリング研修 	
業務別研修	<ul style="list-style-type: none"> ◆預金研修 ◆預かり資産研修 ◆リテール営業研修 ◆業務提携先研修 ◆セールスコミュニケーション研修 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆ハラスメント防止研修 ◆コンプライアンス研修 ◆アンガーマネジメント研修 ◆社内公募による外部研修参加やSBIグループとの人事交流 		

※上記のほか、担当業務や職位などに応じて、随時研修を実施しております。

④ 人的資本経営

仕事と家庭の両立支援制度

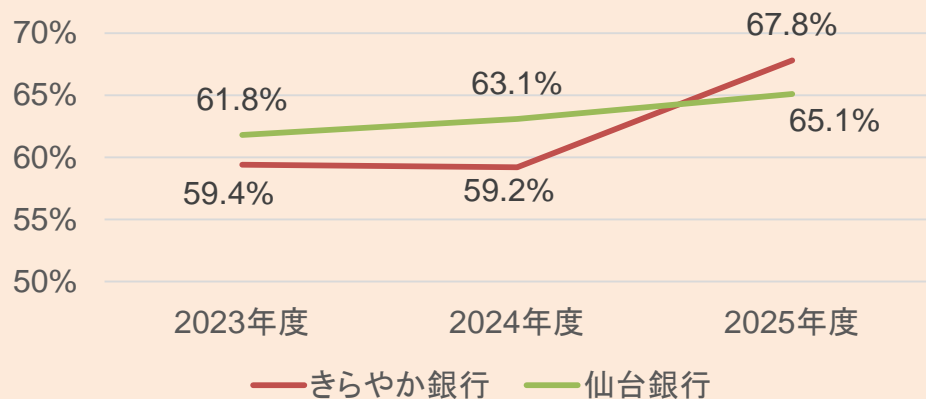
休暇	結婚	妊娠	出産	育児	介護
<p>有給休暇</p> <p>ヘルスサポート休暇 ライフイベント休暇 など</p> <p>永年勤続休暇</p> <p>連続休暇</p> <p>社会貢献活動休暇</p>	<p>結婚休暇</p> <p>結婚祝金</p>	<p>母体健康管理措置</p> <p>産前・産後休暇 (給与全額支給)</p>	<p>出産祝金</p>	<p>育児休業</p> <p>時間外労働の制限</p> <p>深夜勤務免除</p> <p>看護休暇</p> <p>養育両立支援休暇</p>	<p>介護休業</p>
<p>ヘルスサポート休業制度（不妊／がん治療）</p>					

退職者再雇用制度

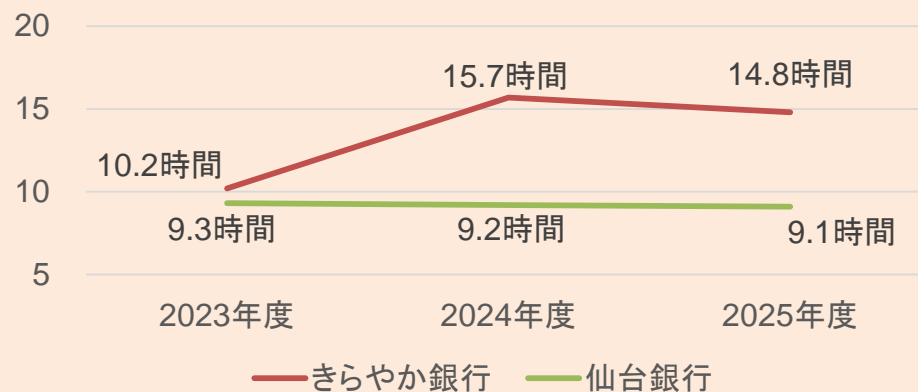
④ 人的資本経営

ワーク・ライフ・バランス関連指標

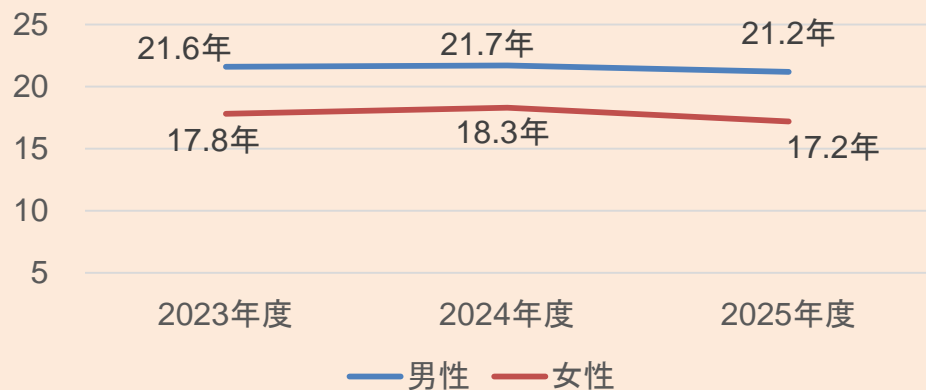
【年次有給休暇取得率】



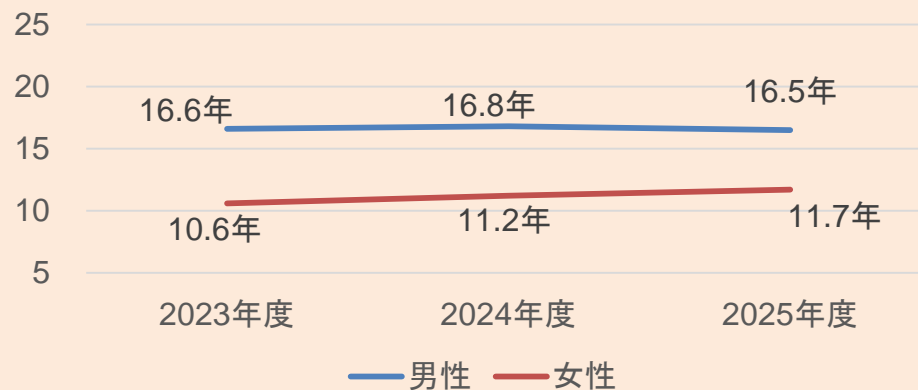
【平均残業時間】



【平均勤続年数(きらやか銀行)】



【平均勤続年数(仙台銀行)】



④ 人的資本経営

主な表彰・認定実績（きらやか銀行）

きらやか銀行

やまがた子育て・介護応援いきいき企業「優秀（ダイヤモンド）企業」

やまがたスマイル企業「ダイヤモンドスマイル企業」

山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰（2015年度）

均等・両立推進企業部門山形労働局奨励賞（2015年度）

山形県障害者雇用優良事業所表彰

次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」

イクボス宣言、やまがたイクボス同盟加盟



④ 人的資本経営

主な表彰・認定実績（仙台銀行）

仙台銀行

宮城県 女性のチカラを活かす企業認証制度「ゴールド認証企業」

宮城県いきいき男女にここに子育て応援企業 最優秀企業（2018年度・2024年度）

宮城県・宮城労働局 魅力ある職場づくりモデル企業表彰

次世代育成支援対策推進法に基づく子育てサポート企業「プラチナくるみん認定」

次世代育成支援対策推進法に基づく不妊治療と仕事との両立サポート企業「プラチナくるみんプラス」認定

イクボス宣言、イクボス企業同盟・みやぎイクボス同盟加盟

みやぎ働き方改革実践企業認証

厚生労働大臣女性活躍推進法「えるぼし認定」

仙台市障害者雇用貢献事業者表彰

ベビーファースト運動参画



2023～2024 宮城県認証企業
ゴールド認証企業



4. 2026年3月期 グループ決算の状況

① 決算の概要 – HD連結当期純利益25億円、2期連続増収増益 –

- **経常収益**は、国内金利の上昇に伴う貸出金利息の増加や有価証券利息配当金の増加などにより、前年同期比+5,806百万円の**44,080百万円**となりました。
- **経常利益**は、前年同期比+1,028百万円の**3,159百万円**となりました。
- **親会社株主に帰属する当期純利益**は、前年同期比+1,021百万円の**2,584百万円**となり、2期連続の増収増益となりました。

(単位：百万円)

	連結（一部2行合算）		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比
経常収益	44,080	5,806	19,348	2,264	19,132	3,316
業務粗利益	26,519	692	13,967	204	12,417	520
資金利益	24,905	1,778	12,492	788	12,453	1,013
役務取引等利益	2,571	△173	1,857	△106	543	△55
その他業務利益	△957	△911	△383	△477	△580	△437
うち国債等債券損益 ※	△1,032	△850	△452	△421	△580	△429
経費（△）	22,401	411	11,379	455	10,606	357
コア業務純益 ※	5,430	763	3,040	170	2,390	593
コア業務純益（除く投資信託解約損益） ※	5,415	765	3,040	170	2,375	595
与信関係費用（△） ※	2,274	161	1,149	△460	1,125	621
株式等関係損益	787	1,049	211	639	569	363
経常利益	3,159	1,028	1,679	1,279	1,321	△136
特別損益	189	333	△42	△26	288	478
法人税等合計（△）	768	317	172	288	508	125
親会社株主に帰属する当期純利益	2,584	1,021	1,464	964	1,101	216

※きらやか銀行、仙台銀行の2行合算計数です。

② 資金利益 – 国内金利が上昇し、資金利益が改善 –

- **貸出金利息**は、国内金利上昇の影響により、前年同期比+40.0億円の**275.7億円**となりました。
 きらやか銀行は、中小企業向け貸出が減少しましたが消費者ローンが増加したことから、前年同期比+17.0億円の134.9億円となりました。
 仙台銀行は、住宅ローンや中小企業向け貸出が増加したことから、前年同期比+22.9億円の140.8億円となりました。
- **有価証券利息配当金**は、債券利息が増加したことなどから、前年同期比+8.1億円の**15.6億円**となりました。
- **預金利息**は、国内金利上昇の影響により、前年同期比+32.3億円の**48.1億円**となりました。

(単位：億円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比
資金利益	249.4	18.0	124.9	7.8	124.5	10.1
貸出金利息	275.7	40.0	134.9	17.0	140.8	22.9
有価証券利息配当金	15.6	8.1	7.7	3.8	7.9	4.3
預金利息 ※	48.1	32.3	23.3	15.8	24.7	16.4
平均残高						
貸出金平均残高	19,250	158	9,507	△113	9,742	271
有価証券平均残高	3,962	165	1,284	176	2,678	△10
預金平均残高 ※	23,528	△272	11,376	△115	12,152	△157
利回り						
貸出金利回	1.44	0.20	1.43	0.20	1.44	0.20
有価証券利回	0.39	0.20	0.60	0.25	0.29	0.16
預金利回 ※	0.20	0.14	0.20	0.14	0.20	0.14

※預金には、譲渡性預金も含まれます。

③ 貸出金・預金 – 貸出金残高、預金残高がともに増加 –

■**貸出金残高**は、地元中小企業のニーズに応じたオーダーメイド融資、仙台地区を中心とした住宅ローン需要へ対応し、前年同月末比+184億円の**1兆9,441億円**となりました。

きらやか銀行は、消費者ローンが増加しましたが、中小企業向け貸出が減少したことなどから、前年同月比△110億円の9,509億円となりました。

仙台銀行は、中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローン需要に積極的に対応したことにより、過去最高の9,932億円となりました。

■**預金残高**は、公金預金が減少しましたが、個人預金の増加などにより、前年同月末比+24億円の**2兆2,880億円**となりました。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2026年3月末	前年同月末比	2026年3月末	前年同月末比	2026年3月末	前年同月末比
貸出金残高	19,441	184	9,509	△110	9,932	295
中小企業向け貸出	10,757	△50	5,670	△126	5,087	75
消費者ローン	6,860	291	2,714	39	4,145	251
うち住宅ローン	6,074	220	2,239	△21	3,835	241
地方公共団体向け貸出	800	△35	270	△5	529	△30
預金残高（譲渡性預金含む）	22,880	24	11,006	32	11,873	△7
個人預金	14,987	208	7,476	90	7,511	118
法人預金	6,376	149	3,420	△40	2,955	189
公金預金	1,488	△279	100	△13	1,388	△266

④ 有価証券 – 株式等の評価額の増加により、その他有価証券の評価損益が改善 –

- **有価証券残高**は、投資環境や市場動向を踏まえた投資やポジションの見直しなどにより、前年同月末比△128億円の**3,538億円**となりました。
- **その他有価証券の評価損益**は、株式等の評価額が増加したことなどにより、前年同月末比+17億円の**△235億円**となりました。
- 引き続き、SBIグループと連携し、運用によって生み出される利益を充当することなどにより、評価損の中長期的な解消に取り組んでまいります。

(単位：億円)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2026年3月末	前年同月末比	2026年3月末	前年同月末比	2026年3月末	前年同月末比
	有価証券残高	3,538	△128	1,141	32	2,397
国債	468	178	299	99	168	79
地方債	246	△110	–	–	246	△110
社債	506	△11	126	△36	380	25
株式	125	18	66	3	58	14
その他証券（海外債券：国債・地方債等）	2,191	△203	648	△33	1,543	△169
その他有価証券の評価損益	△235	17	△97	7	△138	9
株式	17	10	3	1	13	8
債券	△18	△2	△1	0	△16	△3
その他	△234	9	△99	5	△135	3

⑤ 役務取引等利益 – 生命保険販売手数料が減少 –

- 2行合算の役務取引等利益は、預かり資産手数料などの役務取引等収益の減少により、前年同期比△161百万円の**2,401百万円**となりました。
- 預かり資産手数料は、投資信託販売手数料やSBIマネープラザ手数料が増加しましたが、生命保険販売手数料が減少となりました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比
役務取引等利益	2,401	△161	1,857	△106	543	△55
役務取引等収益	6,177	△160	3,185	△64	2,992	△96
受入為替手数料	1,395	10	744	△1	651	11
預かり資産手数料	1,184	△309	455	△127	729	△182
（うち 投資信託販売手数料）	165	23	66	24	99	△0
（うち SBIマネープラザ手数料）	182	35	88	19	94	16
（うち 生命保険販売手数料）	738	△377	300	△170	438	△207
法人向け手数料	784	95	320	△55	464	151
（うち 私募債発行手数料）	54	△60	25	△48	28	△11
（うち 業務提携手数料）	206	16	63	24	143	△8
（うち 定額サービス手数料）	299	△19	231	△31	68	12
その他	2,812	42	1,665	119	1,147	△77
役務取引等費用	3,776	0	1,327	41	2,448	△40
支払為替手数料	346	△4	242	△5	104	0
個人ローン保証料	1,725	91	441	67	1,284	24
その他（住宅ローン団体生命保険料等）	1,704	△86	644	△20	1,060	△65

⑥ 経費、経営効率化 – 「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」 –

- 当社グループは、経営効率化に向けて「店舗戦略」「業務効率化・DX」「人員戦略」を一体で推進しております。2行合算の経費は、前年同期比+812百万円の**21,986百万円**となりました。
- 「店舗戦略」について、両行合算のブランチ・イン・ブランチ（店舗内店舗）形式での実質店舗数（インターネット支店を含む）は、前年同期比△1カ店の**81カ店**となっております。
- 「人員戦略」について、「店舗戦略」や「業務効率化・DX」による創出人員を営業担当へ再配置しております。一方で、全体の人員数は両行合算で前年同期比△8名となりました。
- コアOHRは、前年同期比1.74ポイント改善し、**80.19%**となりました。

（単位：百万円、店舗、人、%）

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比
経費	21,986	812	11,379	455	10,606	357
人件費	10,349	324	5,315	200	5,033	124
物件費	9,920	472	5,198	255	4,721	217
税金	1,716	15	865	△0	850	15
店舗数 (ブランチ・イン・ブランチ形式での実質店舗数)	81	△1	36	–	45	△1
人員数	1,295	△8	623	△23	672	15
コアOHR	80.19	△1.74	78.91	△0.28	81.60	△3.48

⑦ 与信関係費用、金融再生法開示債権 – 不良債権処理が進展 –

- **与信関係費用**は、事業再生支援完了先の貸倒引当金戻入を計上したものの、不良債権処理額の増加および個別貸倒引当金繰入額の増加などにより、2行合算で前年同期比+161百万円の**2,274百万円**となりました。
- **金融再生法開示債権残高**は、物価上昇等の影響に伴う取引先の業況悪化により、前年同期比+1,346百万円の**91,760百万円**となりました。不良債権比率は、+0.03ポイントの**4.64%**となりました。

(単位：百万円、%)

	2行合算		きらやか銀行		仙台銀行	
	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比
	与信関係費用	2,274	161	1,149	△460	1,125
うち一般貸倒引当金繰入額	△1,585	△1,283	△1,510	△1,181	△74	△101
うち個別貸倒引当金繰入額	2,821	1,097	1,982	570	838	527
金融再生法開示債権残高	91,760	1,346	57,688	258	34,072	1,087
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,272	2,474	16,465	970	3,807	1,503
危険債権	67,971	△1,041	40,664	△881	27,306	△159
要管理債権	3,517	△86	558	169	2,958	△255
不良債権比率	4.64	0.03	5.94	0.12	3.39	0.01

	2行合算			きらやか銀行			仙台銀行		
	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率	債権額	保全額	保全率
	金融再生法開示債権の保全	91,760	81,099	88.38	57,688	48,817	84.62	34,072	32,282
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	20,272	20,272	100.00	16,465	16,465	100.00	3,807	3,807	100.00
危険債権	67,971	58,604	86.21	40,664	32,226	79.25	27,306	26,377	96.59
要管理債権	3,517	2,222	63.19	558	125	22.45	2,958	2,097	70.88

(単位：百万円、%)

⑧ 自己資本比率、ROE - 連結自己資本比率 8.02% -

- 自己資本の額は、両行の当期純利益の計上により、前年同月末比+6億円の**1,085億円**となりました。
- リスク・アセット等は、仙台銀行の貸出金残高（主に住宅ローンおよび中小企業）の大幅な増加などにより、前年同月末比+118億円の**13,526億円**となりました。
- 以上により、**連結自己資本比率**は、前年同月末比0.02ポイント低下し**8.02%**となりました。
- **ROE**は、当期純利益ベースで前年同期比+1.12ポイントの**2.50%**となりました。

(単位：百万円、%)

	連結		きらやか銀行 (単体)		仙台銀行 (単体)	
	2026年3月末	前年同月末比	2026年3月末	前年同月末比	2026年3月末	前年同月末比
自己資本の額	108,519	672	54,691	△35	54,920	916
リスク・アセット等	1,352,616	11,878	633,773	△10,212	715,201	23,765
自己資本比率	8.02	△0.02	8.62	0.13	7.67	△0.14

(単位：%)

	2行合算		きらやか銀行 (単体)		仙台銀行 (単体)	
	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比	2026年3月期	前年同期比
ROE (業務純益ベース)	5.83	1.06	9.02	1.90	3.30	0.40
ROE (当期純利益ベース)	2.50	1.12	3.22	2.10	1.92	△0.34

⑨ 中期経営計画目標と実績 – 公的資金返済に向けて剰余金を積上げ –

- 2026年3月期は、国内金利上昇の影響により貸出金利息が増加したことなどから、経常利益31億円、当期純利益25億円と計数目標を上回りました。
- 今後も引き続き、本計画を着実に実行することにより、公的資金返済に向けた剰余金の積上げに取り組んでまいります。

(単位：億円、%)

	連結		きらやか銀行 (単体)		仙台銀行 (単体)	
	2026年3月期 計画	2026年3月期 実績	2026年3月期 計画	2026年3月期 実績	2026年3月期 計画	2026年3月期 実績
コア業務純益 (2行合算)	45	54	23	30	22	23
経常利益	23	31	6	16	16	13
親会社株主に帰属する当期純利益	16	25	4	14	11	11
貸出金平残 (2行合算)	19,546	19,250	9,672	9,507	9,873	9,742
預金平残 (2行合算)	23,740	23,528	11,200	11,376	12,540	12,152
ROE (2行合算) ※1	1.5	2.5	0.9	3.2	2.0	1.9
自己資本比率	7.2程度	8.02	7.4程度	8.62	7.5程度	7.67
コアOHR (2行合算)	82.5	80.1	82.5	78.9	82.5	81.6
顧客向けサービス業務利益 (2行合算) ※2	36	44	15	21	21	22

※1 ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本 (普通株 + 優先株)

※2 顧客向けサービス業務利益 = 貸出金残高 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

⑩ 2027年3月期 業績予想と配当予想

- 2027年3月期の連結業績予想は、経常利益40億円、親会社株主に帰属する当期純利益36億円を見込んでおります。
- 2027年3月期の年間配当金は、普通株式1株あたり5円00銭を予定しております。
当社が国の公的資金を受入れるにあたり発行している優先株式の配当予想は、所定の配当金を全額配当することを予定しております。
年間配当水準は当社連結の通期業績予想に連動して予想しますことから、中間配当を見送り、期末配当に一本化させていただきます。

<業績予想>

(単位：百万円)

	連結		きらやか銀行（単体）		仙台銀行（単体）	
	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績（参考）	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績（参考）	2027年3月期 予想	2026年3月期 実績（参考）
経常利益	4,000	3,159	2,200	1,679	1,500	1,321
親会社株主に帰属する当期純利益	3,600	2,584	2,200	1,464	1,000	1,101

<普通株式・配当予想>

(単位：円、1株あたり)

	中間	期末	年間
2027年3月期	0円00銭	5円00銭	5円00銭
2026年3月期（参考）	0円00銭	5円00銭	5円00銭

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。

こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比で異なる可能性があることにご留意ください。

《当資料に関するお問い合わせ先》

株式会社 じもとホールディングス
総合企画部

TEL: 022-722-0011 (代表)
<https://www.jimoto-hd.co.jp>